

こんにちは ふるいち順子です

※私からのお願い※ このニュースをお読みいただくことが大きな支えになります。ぜひ、読んでいただける方をご紹介ください。

発行 古市順子 真田町本原(竹室) 2543-3 ☎/FAX 72-3261 メール: huruitij@ued.janis.or.jp ホームページ http://www.ued.or.jp/~huruitij/

NO. 196 2022年8月号



ダリアがとても大きくなり、次々と花を咲かせてくれます。



暑い日が続いており、またコロナの県独自の感染警戒レベルが、8日には最高の「6」に引き上げられました。体調管理に気をつけて過ごしましょう。

8/7投開票の県知事選挙は、大変お世話様でした。日本共産党も支持した元上田市議の金井忠一さんをご支援いただいた皆さん、ありがとうございます。金井さんの大奮闘は、阿部知事の「初心にかえり、県民との対話を取り戻したい・・・」といった言動にも影響があったのではないのでしょうか。政策では、いま重大課題のコロナ対策は具体的な5つの提案をしましたが、ぜひ緊急に取り組んでいただきたいものです。また、給食費の負担軽減や子どもの医療費完全無料など、県として市町村事業の支援を充実してほしいと思います。

7月下旬は環境建設委員会の行政視察、自治体学校がありました。今後の活動に生かせるよう、概要を報告します。また、私も委員として条例づくりに参加した「上田市人生100年時代をより良く生きる健康づくり条例制定記念式典・講演会」が行われました。行動制限のない中で、真田地域でも3年ぶりに「女性団体と議員の懇談会」「真田まつり」も行われました。

9月定例上田市議会は、8/29に開会予定で、一般質問の時間は未定ですが、受付は8/22から始まります。また昨年度の決算審査が行われます。議員団で相談して準備したいと思います。(8/9)

第64回自治体学校 in 松本 (7/23~25)

松本市で開かれましたが、23日と25日は、オンライン参加。24日は分科会で松本へ出向きました。私は「コロナ禍で求められる社会保障の役割と課題」に参加しました。

◎助言者・・・横山寿一さん(佛教大学客員教授)のお話

○日本の社会保障は、三重のセーフティネットと言われてきた。第一は社会保険、第二は生活困窮者自立支援制度、第三は生活保護制度。しかし、制度が整備されていても適切に運用されなければ、役割は果たせない。コロナ禍で以前からの脆弱性やほころびが現実化した。

○国は相次いで、臨時的な救済措置を実施した。当座をしのご役割は、一定果たしたものの、生活・営業の困難は短期には解消されない。期限付き制度で、これから返済が始まる。制度は周知されておらず相談に行けない人もいる。

○生活保護制度の抜本改革は急務。また住宅保証を社会保障と位置付けることも課題。

◎田川英信さん(生活保護問題対策全国会議)の報告

○生活保護の「水際作戦」も横行している。厚労省からの様々な事務連絡(車の所有についての緩和、持ち家所有の緩和、扶養照会は可能性のない人にはしなくてもよい。)も無視する自治体がある。

原因は・・・

- ①職員の質の担保ができていない
- ②研修体制の不備・不足
- ③人事サイクルが短い
- ④人員不足
- ⑤監査の影響



分科会では、助言者の発言の後、3人の方の報告がありました。写真は生活保護問題対策全国会議の田川さん。その後参加者からの質問、報告などで交わりました。

◎勝部麗子さん(豊中市社会福祉協議会)の報告

「コロナ禍で生活困窮、社会的孤立を支える現場から」

○3つの命のリスクとの闘い

①コロナ感染症による死 ②コロナで減収した人の自殺

③コロナで地域のつながりを失った人の孤独死

○緊急小口資金、総合福祉資金への対応は毎日100件を超える相談、12000世帯以上。外国人も多い。

○コロナ貧困の特徴は、飲食・観光などの自営業に集中。今まで生活困窮と無縁の人も多い。・・・「副業や緊急雇用があれば仕事をしたい。」「生活保護になるくらいなら死んだ方がまし」

○緊急小口資金、総合福祉資金の返済は、非課税世帯は免除で一定評価できるが、ぎりぎりの人は返済を考えると、生活保護以下の生活になる。

○コロナ禍でつながった貸付対象者を誰一人取り残さないために、伴走型の支援を引き続き行っていくことが大切⇒社会福祉協議会、自立相談支援機関に常勤の相談支援員の増員、処遇改善を・・・

上田市議会 環境建設委員会行政視察 (7/20~22)

7/20 栃木県宇都宮市

1) ネットワーク型コンパクトシティについて

- ① 中心市街地に加えて、旧町村の中心部などに身近な地域拠点を設け、拠点内に生活に便利な施設を誘導・集積
- ② 拠点間を結ぶ公共交通と地域を面的にカバーする公共交通を整備する。
- ③ ライフスタイルに合わせて多様な暮らし方を選択できるまち。特に次の世代にたいして、居住選択に応じ、緩やかに居住を誘導

○宇都宮市は都市計画区域を市街化区域(計画的に市街化を図る地域)と、市街化調整区域(市街化を抑制する区域)にわけています。

○市街化調整区域の拠点【7か所】形成に向けた取り組み

- ① 地域拠点を中心に利便性を高め、郊外で安心して暮らし続けることのできる環境を形成
- ② 地域拠点や地域交流の核となる小学校を中心としたコミュニティを維持・形成
- ③ 自然・営農環境を保全しながら、農家住宅など既存集落のコミュニティを維持

・開発許可基準の運用見直し(延床面積1500㎡まで可)

・生活利便施設の立地補助(施設整備費の10%)

2) 公共交通ネットワークについて

○バス路線の再編の視点

- ① 公共交通空白・不便地域解消② 定時性・速達性の向上
- ③ 運行の効率化、公共交通の役割分担
- ④ 事業運営の継続性の確保、経営資源の有効活用

○地域内交通の導入

タクシー車両などを活用し、公共交通空白・不便地域などにおける地域住民の日常生活の移動手段を確保する「地域内交通」の導入を推進。郊外部を中心に14地区17路線で運行(旧町村単位)人口52万人のうち、26万人をカバー。年間約10万人が利用している。基本的に路線バスと競合しない。定時定路方式2路線、デマンド方式15路線。

地域ごとに住民の運営組織があり、熱意をもって取り組まれている。市は運営経費の3分の2を補助

7/21 岩手県一関市 移住・定住の取組みについて

7/22 栃木県鹿沼市 2050年までに CO2 排出ゼロにする取組みについて



7月14日、長野菅平線改良促進委員会で、25号カーブの現地視察を行いました。栈橋を建てるメタルロード工法です。

7月29日、健康づくり条例制定記念講演会。諏訪中央病院名誉院長の鎌田實先生の、実践も交えた楽しいお話でした。



8月6日、広島原爆の日。龍水寺で、平和の鐘を撞かせていただきました。その前に新婦人の会員のあいさつがありました。

前号からの活動報告

- 7/23 生活と健康を守る会(陽だまりネット)昼食交流会 自治体学校(オンライン)
- 7/24 自治体学校分科会(松本市)
- 7/25 自治体学校(オンライン)
- 7/29 上田市人生100年時代をより良く生きる健康づくり条例記念式典・講演会
- 8/ 3 さなだ共同参画ネットワークと議員との懇談会 上田市議会会派代表者会
- 8/ 5 上伊那郡区県議補選支援
- 8/ 6 平和の鐘行動 真田まつり
- 8/ 8 上田駅前宣伝 上小・東御生活と健康を守る会理事会

これからの予定(8/9現在)

- 8/13 新盆回り
- 8/15 終戦の日 上田駅前宣伝
- 8/17 上田市民劇場、市への要望・懇談
- 8/20 生活と健康を守る会(陽だまりネット)昼食交流会
- 8/22 羽田雄一郎氏 お別れの会
- 8/24 党全県議員会議

我が家の庭だより

今年、盆花の足しになればと、アスター、ダリア、オミナエシの苗や、グラジオラスの球根を植えました。少し前に様子を見にいくと、草やコスモスの中に埋もれていて、びっくりです。あわてて、草取りとコスモスもある程度抜いて、陽が当たるようにしました。この頃見ると、アスターも色がついてお盆にはちょうどいいようです。種で蒔いた母が好きだった百日草も見頃となりました。今年、草がすごい勢いで、畑を気にしていたら、庭も草だらけで、どうにかさっぱりとお盆を迎えたいものだと思っています。

畑の方は、収穫のピークで、オクラもきれいな花を咲かせて、ぼつぼつ採れるようになりました。長持ちさせるには、水くれや追肥、誘引、傷んだ葉を取り除くなど、まめに手入れが必要そうです。農薬は使わないので、ダメになってしまう物もあります。味はいいようで、モロッコインゲンなどお裾分けも喜ばれています。孫は、初めての水遊びですが、うれしそうです。



【8月9日】